

令和6年度 勇払マリーナ管理運営状況報告書

令和7年4月30日

指定期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
指定管理者名	株式会社ベルポート北海道
所管課名	苫小牧港管理組合総務部業務経営課

1 施設の利用状況

(単位:隻)

施設名等	契約隻数		出艇数	
	今年度	前年度	今年度	前年度
海上係留	21	19	915	975
陸上艇置場(Aヤード)	40	39	847	618
陸上艇置場(Bヤード)	35	32	470	507
船揚場	42	34	230	213
物揚場	3	3	海上に含む	海上に含む
水上オートバイ	0	0	0	0
ビジター			91	95

2 収入の状況

(単位:千円)

主な収入項目			予算額	決算額
指定管理業務	利用料金収入	海上係留	11,300	9,436
		陸上艇置場(Aヤード)	10,680	12,678
		陸上艇置場(Bヤード)	5,860	5,342
		船揚場	1,250	1,229
		物揚場	2,070	1,654
	その他の利用料金収入		7,516	5,781
その他諸収入			0	0
自主事業収入			26,710	35,633
合 計			65,386	71,753

3 支出の状況

(単位:千円)

主な支出項目	予算額	決算額
人件費(給与、手当、通勤費、福利厚生費外)	26,000	27,389
需用費(消耗品費、修繕費、光熱水費等)	9,875	8,096
役務費(保険料、通信運搬費等)	3,000	4,395
委託料(設備点検委託費外)	1,085	1,560
その他諸経費	3,590	4,452
自主事業費	16,520	21,182
合 計	60,070	67,074

4 利用者からの要望に対する対応

要望・相談・苦情	改善等の内容
・港口の灯浮標の位置が左過ぎる。 ・定休日の下架について、有料でもいいので検討して欲しい。 ・上下架、出港届等のWeb対応を希望します。 ・Bヤードトイレ、洋式が望ましい、もしくは増設希望。 ・斜路会員ですが、路面凍結などで船を持ち帰れない場合、1週間預かってもらうことは可能でしょうか。 ・Bヤードの草刈りをお願いします。今年(令和6年度)は特に酷い。 ・Bヤードのトレーラー置き場、区画ロープが見づらいので対応してください。	・水深を計った上で設置しておりますので現状のままとします。 ・現在の人員体制では難しいので、現状のままとします。 ・費用の問題はありますが、現在検討を進めています。 ・少し歩きますが修理棟のトイレは利用者なら24時間自由に使えますので、ご利用ください。 ・令和7年度よりBヤードの月契約が可能になりました。ぜひご利用下さい。 ・令和7年度は草刈りの頻度を増やします。 ・雪か解けてから(令和7年度)、区画ロープの貼り替えを実施します。
・スタッフの対応がよい 今後とも船の管理をお願いします	

5 自主事業の概要

計画	実施状況
・小型船舶の販売、修理等 事業収入 5,500千円 ・燃料の販売 1,500千円の純利益 ・ボート免許教室(年8回) 受講者数70名 ・レンタルボート 30回 利用者数90名 ・船検代行 ・船舶保険代理店 ・管理棟ロビー活動(物販コーナー)	・小型船舶の販売、修理等 事業収入 10,929千円 ・燃料の販売 3,111千円の純利益 ・免許教室年8回 受講者数 55名 ・レンタルボートは、年43回 利用者数 169名 ・20件代行 ・32件取次ぎ ・管理棟フロントにてとまチョップ水、保冷水、パンの販売 212千円

6 指定管理者が提案した取組等の実施状況

提案内容	実施状況
【施設管理運営】 方針1 安全第一 方針2 平等利用 方針3 地元貢献 方針4 維持管理費の縮減 令和6年度における目標 1)新規契約者の創出 2)利用者の拡大 3)無駄を省き適切な経費を支出 【施設効用等】 ①既存利用者の満足度向上に向けた取組 ②ボート免許教室の開催 ③レンタルボート事業の開催 ④研修室の利用向上 自主事業による収益の使途 環境問題に対する関係機関との連携強化 【安定的管理に必要な人員等】 巡回体制(夜間及び休業日の当直はベルポート北海道の正社員で対応) 職員育成及び研修 【管理経費の縮減】 必要な部品等は在庫で用意し、日常点検時に確認することで 軽微なうちに修繕を実施 施設警備費の削減 自主事業との兼任による人件費の削減	・利用者に対して出港届提出の徹底を求めています。 ・利用者に対し平等な接遇を心掛けるようミーティングで確認しています。 ・勇払商工振興会役員として、「ゆうふつ花火大会」「勇払夏まつり」「恵比須神社例大祭」「トライアスロン大会」「マラソン大会」に協力しています。 ・日常の巡回や定期的な施設点検において不具合箇所を確認し、早期発見に勤めています。 ・マリナー利用者に対するきめ細やかなサービス、接遇を実施し、ロコミにより他マリナーや漁港からプレジャーボートの保管申し込みが相次ぎ、令和5年度の127隻から141隻へと新規契約者が大幅に増えました。 ・レンタルボートの利用者が140名から169名と増加した。「ゆうふつ花火大会」(来場者数推定8,000人)やトライアスロン大会(参加者320人)などに協力し、ボート利用者以外の集客アップを図った。 ・令和6年度より陸電使用者の従量制電気料金を導入したことにより、利用者の使用量が大幅に減少、支払総額も大きく減少した。 ・利用者と積極的なコミュニケーションを図り利用者のニーズを把握、ボートの修理メンテナンス件数を増やした。 ・受講者数 令和5年度46名に対し令和6年度は55名 ・レンタルボートの利用者が令和5年度140名に対し、令和6年度169名と増加した。 ・使用予定の無いときはオーナーズルームとして開放しているほか、野鳥の写真などを展示して一般の方にも楽しんでいただいています。 ・自主事業による収益の使途としてマリナー運営経費に運用しています。 ・北星学園大学環境経済学ゼミ性が設置した海洋ごみ回収装置Seabinによる調査、及び千歳科学技術大学学生による海洋プラスチックの研究に協力しました。苫小牧市が勇払で行う脱炭素先行地域事業についても勇払商工振興会の一員として積極的に協力しています。 ・巡回当直員はベルポート北海道の正職員3名で対応しています。 ・マリナー職員として必要な、一級小型船舶操縦士、危険物取扱者、フォークリフト運転、玉掛技能講習やインストラクター資格の取得支援を行っています。 ・日常点検等に合わせて、ダメージが深刻にならない軽微な状態のときに補修を実施している。 ・マリナー施設の夜間休日警備は自前のスタッフで行うことにより、外注委託費の削減に努めています。 ・経費削減のため効率的な運用に努めています。

7 事業計画のうち未実施の事業

特になし

8 配置人員

計画				実施状況			
総括責任者	1	名		総括責任者	1	名	
支配人	2	名		支配人	2	名	
ヤード・経理職員	4	名		ヤード・経理職員	3	名	
警備職員	5	名		警備職員	5	名	
合 計	12	名		合 計	11	名	